

令和3年5月28日

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

管理機関名 新潟県教育委員会

代表者名 稲荷 善之

1 管理機関

①管理機関（市区町村・都道府県）

ふりがな	いといがわし
管理機関名	糸魚川市
代表者職名	市長
代表者職名	米田 徹

②管理機関（産業界）※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	かぶしきかいしゃのうすいしょうてん
管理機関名	株式会社能水商店
代表者職名	代表取締役
代表者氏名	松本 将史

③管理機関（学校設置者）

ふりがな	にいがたけんきょういくいいんかい
管理機関名	新潟県教育委員会
代表者職名	教育長
代表者職名	稲荷 善之

2 指定校名

学校名 新潟県立海洋高等学校

学校長名 増田 てつ志

3 事業名

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築  
～糸魚川・能生から海洋リーダーを育てるLINKプロジェクト～

4 事業概要

- 未来を担う海洋リーダー(Leader)を育成する教育システムを、地元糸魚川市(Itoigawa)と能生(Nou)地域の漁業・水産加工・観光・ICT等の関連企業等と、海洋(Kaiyo)高等学校が連携して、構築する。

- ICTを活用した設備によるチョウザメ、アカムツ（ノドグロ）などの養殖や、魚肉やキャビアなどの生産加工と商品開発、及び地元「道の駅海洋高校能水商店（仮称）」の実店舗を核としたデジタルマーケティングにおける販売実習等により、海洋・水産業のICT化と6次産業化を地域・企業等と連携して実践的に学び、事業3年目には、高付加価値商品を開発・PR・販売して「2015年から続く糸魚川市水産資源活用産学官事業の能水商店ブランド」として改めて県内外に広める。
- 6次産業化等と共に観光資源を活かした誘客宣伝や海洋レジャー体験サービスにも取り組み、地域の課題解決に向けた包括的な活性化プラン構想をつくるなかで、地方創生を牽引する人材を育成する。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している
- 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～令和4年3月31日

7 令和3年度の実施計画

- 「マイスター・ハイスクールビジョン」の策定
- 産業実務家教員による講義・実習の開始  
産業実務家教員が担当する授業（令和3年度）

学年	マイスター・ハイスクール事業に係る授業
1年生	・「社会と情報」「総合的な探究の時間」の中で、1クラス年間20時間程度、ICT化・6次産業化、及び地域理解についての講義・実習
2年生	・「総合実習」の中で、1クラス年間20時間程度のICT化・6次産業化についての講義・実習 ・「総合実習」において、地域や企業と連携した実習を実施（※1クラス年間50時間程度の実習指導）
3年生	・「課題研究」において、地域や企業と連携した研究を実施（※1クラス年間70時間程度の研究指導）

産業実務家教員が担当するICT化・6次産業化に関する企業連携実習

コース名	授業・実習内容
資源育成コース	ICTを活用した糸魚川産チョウザメ（キャビア）・イトウの養殖実習
食品科学コース	ICTを活用したHACCPシステム試験運用、魚醤関連加工品の開発
海洋技術コース	「海洋丸」乗船実習中における普通教科オンライン授業の試験運用
海洋創造コース	水中ドローンの試験運転と簡易製図

- 糸魚川市と連携した地域理解（「総合的な探究の時間」）、地域課題解決学習（「課題研

究]

- 企業と連携した水産業の6次産業化の研究開発・実践  
(「総合実習」にて、養殖・水産加工品開発)

連携企業	研究開発・実践
(有)SKフロンティア	糸魚川産チョウザメ・イトウのICTを活用した養殖の研究
(株)能水商店	地域資源を活用した水産加工商品の新規開発とブランディングの研究
(株)GLAM	「道の駅海洋高校能水商店(仮称)」におけるOMOの実践

- 「道の駅海洋高校能水商店(仮称)」にデジタルマーケティングシステム構築

<添付資料>

- ・ 令和3年度教育課程表

## 8 事業実施体制

意思決定機関の体制(マイスター・ハイスクール運営委員会)

氏名	所属・職
増田 てつ志	新潟県立海洋高等学校・校長
米田 徹	糸魚川市・市長
松本 将史	株式会社能水商店・代表取締役
池亀 郁雄	株式会社能生町観光物産センター・代表取締役社長
稲荷 善之	新潟県教育委員会・教育長
大貫 慶一	能生商工会・会長
渡邊 武	糸魚川信用組合営業推進室・室長

事業実行機関の構成(マイスター・ハイスクール事業推進委員会)

氏名	所属・職
松本 将史	マイスター・ハイスクールCEO
増田 てつ志	新潟県立海洋高等学校・校長
磯野 豊	糸魚川市教育委員会こども課・課長
太田 一則	株式会社グローバルアセットモーションズ・代表取締役
清水 靖博	株式会社能生町観光物産センター・代表取締役本部長
渋谷 一正	有限会社SKフロンティア・代表取締役
久保田 長門	能生商工会・支部長
磯谷 光一	上越漁業協同組合・組合長
齋藤 雄司	能生内水面海洋協同組合・組合長
小田嶋 大	糸魚川信用組合能生支店・店長

## 9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間(令和3年6月7日～令和4年3月31日)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 「マイスター・ハイスクールビジョン」の策定	■	■	■	■	■								
② 産業実務家教員による講義・実習				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
③ 糸魚川市との連携による地域課題解決学習				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
④ ICT・スマート化・6次産業化に関する産業実務家教員の授業及び連携企業における実習の開始				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑤ 企業と連携した漁業の6次産業化の研究開発・実践				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
⑥ 「道の駅海洋高校能水商店(仮称)」の実店舗新設				■	■	■	■						
⑦ OMOによるデジタルマーケティングシステムの構築							■	■	■	■	■	■	■

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

(○) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

( ) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・  無

※有の場合、別添3に詳細を記載すること。

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者 ・  免税事業者 (□で囲むこと)